
2006年8月2日

**2007年(平成19年)3月期
第1四半期
財務・業績概況 説明資料**

東レ株式会社

目次

2007年3月期第1四半期

財務・業績概要(連結)

- ・連結業績の概要(収益) (P4)
- ・営業外収支 (P5)
- ・特別損益 (P6)
- ・連結業績の概要(財政状態) (P7)
- ・設備投資額・減価償却費 (P8)
- ・事業セグメント別業績 (P9-15)
- ・営業利益増減要因分析 (P16)

2007年3月期中間期業績見通し(連結)

- ・連結業績見通し (P18)
- ・事業セグメント別業績見通し (P19-20)

**・ 2007年3月期第1四半期
財務・業績概要(連結)**

連結業績の概要(収益)

億円

	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減
売上高	3,241	3,581	+339 (+10.5%)
売上原価	2,569	2,860	+291 (+11.3%)
売上総利益	672	720	+48 (+7.2%)
(売上高総利益率)	20.7%	20.1%	-0.6 ポイント
販売費及び 一般管理費	513	535	+22 (+4.3%)
(売上高販管費比率)	15.8%	14.9%	-0.9 ポイント
営業利益	159	186	+26 (+16.5%)
(売上高営業利益率)	4.9%	5.2%	+0.3 ポイント
営業外収支	9	0	+9 (-)
経常利益	150	185	+35 (+23.5%)
特別損益	21	10	+31 (-)
税前利益	129	195	+66 (+51.0%)
純利益	64	117	+53 (+83.0%)

上期営業利益見通しに対する第1四半期進捗率

	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期
第1四半期営業利益	159	186
上期営業利益 06年3月期は実績 07年3月期は見通し	388	430
第1四半期進捗率	41.1%	43.2%

 注)07年3月期上期見通しは、
06年5月時点の見通し

(注)3月期決算会社は4~6月の業績,12月期決算会社は1~3月の業績を連結

営業外収支

億円

	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減	特記事項
営業外収益	28	52	+24	
受取利息及び配当金	9	10	+1	
持分法による投資利益	5	18	+13	
雑収益	14	24	+10	為替差益の増加等
営業外費用	37	52	-15	
支払利息	19	21	-2	
雑損失	18	32	-13	新規設備の操業準備費用の増加等
営業外収支	9	0	+9	
金融収支	10	11	-1	
雑収支	4	7	-4	

注) 収益はプラス、費用はマイナス()で表示

特別損益

億円

	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減	特記事項
特別利益	0	18	+17	
有形固定資産売却益	0	2	+2	
投資有価証券売却益	0	15	+15	保有意義の低下した株式の売却
特別損失	21	8	+13	
有形固定資産売却廃棄損	2	5	-3	
減損損失	17	-	+17	
投資有価証券評価損	0	0	+0	
構造改善費用	1	3	-1	
その他	0	-	+0	
ネット特別損益	21	10	+31	

注) 収益はプラス、費用はマイナス()で表示

連結業績の概要(財政状態)

億円

	06年3月末	06年6月末	増減	特記事項
総資産	15,374	15,219	-155	
流動資産	6,623	6,505	-118	手元資金の減少等
有形固定資産	5,862	5,966	+104	設備投資の増加等
無形固定資産	115	118	+3	
投資その他	2,774	2,629	-145	投資有価証券の減少等

	06年3月末	06年6月末	増減	特記事項
負債合計	9,467	9,327	-140	
流動負債	5,379	5,204	-175	
固定負債	4,088	4,123	+35	
少数株主持分	537	-	-	
資本合計	5,370	-	-	
純資産合計	-	5,892	-	
有利子負債残高	4,844	4,965	+121	
D / Eレシオ	0.90	0.93	+0.03	

設備投資額・減価償却費

億円

	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減	特記事項
設備投資額	125	194	+70	東レ:52、国内:19、海外:124
減価償却費 -)	148	158	+10	東レ:62、国内:23、海外:73
振替・除却等	13	68	+55	
有形固定資産増減	10	104		

主な設備投資：

< 国内 >	東レ：炭素繊維・プリプレグ設備	2007年1月稼働予定
< 海外 >	CFA：炭素繊維設備(米国)	2006年1月稼働
	TSI：フィルム加工設備(韓国)	2006年3月稼働
	TJQ：ポリエステル・綿混織物設備(中国)	2006年4月稼働

事業セグメント別業績(売上高 / 営業利益)

億円

	売上高			営業利益		
	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減
繊維	1,404	1,460	+56 (+4.0%)	49	38	-11 (-22.8%)
プラスチック・ケミカル	780	908	+128 (+16.4%)	39	36	-4 (-9.1%)
情報通信材料・機器	517	646	+129 (+25.0%)	50	68	+18 (+34.9%)
炭素繊維複合材料	119	146	+26 (+22.1%)	26	44	+18 (+67.1%)
環境・エンジニアリング	247	273	+26 (+10.4%)	9	6	+3 (-)
ライセンスその他	174	149	-25 (-14.4%)	3	6	+3 (+107.0%)
(内医薬・医療材)	93	92	-1 (-1.2%)	1	0	+1 (-)
計	3,241	3,581	+339 (+10.5%)	159	185	+26 (+16.5%)
消去又は全社				1	1	+0
連結	3,241	3,581	+339 (+10.5%)	159	186	+26 (+16.5%)

事業セグメント別業績(繊維)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減	
東レ	301	312	+10 (+3.4%)	21	18	-3 (-14.5%)	高機能繊維を中心に産業用途は堅調に推移するも、衣料用途は店頭での荷動きが鈍く、厳しい状況で推移。また、原燃料価格高騰の影響を受け、増収減益。
国内	703	707	+4 (+0.6%)	18	20	+2 (+10.1%)	商事子会社が拡販に努め、増収増益。
海外	399	441	+42 (+10.5%)	9	3	-5 (-61.4%)	中国事業の改善が進むも、インドネシア事業が燃料価格高騰の影響を強く受ける等により、増収減益。
修正				1	4	-5	
計	1,404	1,460	+56 (+4.0%)	49	38	-11 (-22.8%)	

< 主要関係会社 >

国内：東レインターナショナル、一村産業、蝶理 他

アジア：PENFABRIC(マレーシア)、LUCKYTEX(タイ)、ITS(インドネシア)、TFNL(中国) 他

欧米：ALCANTARA(イタリア) 他

事業セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減	
東レ	205	209	+4 (+1.8%)	9	5	-4 (-48.7%)	樹脂は自動車用途を中心に、フィルムは工業材料用途を中心に拡販し、増収。原燃料価格高騰の影響等もあり、減益。
国内	305	354	+49 (+15.9%)	18	21	+3 (+17.3%)	樹脂・フィルム・ケミカル・商事各社とも堅調に推移し、増収増益。
海外	270	346	+76 (+28.2%)	15	8	-7 (-47.3%)	中国樹脂子会社や米国フィルム子会社が拡販に努めたこと等により、増収。韓国フィルム子会社が情報通信材料・機器用途へのシフトを戦略的に推進したことと欧州フィルム子会社不振等により、減益。
修正				2	2	+5	
計	780	908	+128 (+16.4%)	39	36	-4 (-9.1%)	

< 主要関係会社 >

国内：東レフィルム加工、東レ・ファインケミカル、曾田香料、蝶理 他

海外：TPA(アメリカ)、TPM(マレーシア)、TPEu(フランス)、TSI(韓国) 他

事業セグメント別業績(情報通信材料・機器)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減	
東レ	195	246	+51 (+26.4%)	32	27	-6 (-17.7%)	IT関連樹脂・フィルム、PDP関連材料等の拡販を進め、増収。PETフィルムが原燃料価格高騰の影響を受け、カラーフィルターの競争激化による価格低下の影響等もあり、減益。
国内	206	241	+35 (+16.9%)	17	30	+13 (+75.7%)	FPD関連フィルム、COF用2層フィルムの拡販、FPD・半導体関連装置の拡販等により、増収増益。
海外	116	159	+43 (+37.0%)	1	10	+11 (-)	韓国子会社がFPD関連フィルムを拡販、前年同期にユーザーの在庫調整の影響を受けた韓国回路関連事業子会社も堅調に推移し、増収増益。
修正				2	1	-1	
計	517	646	+129 (+25.0%)	50	68	+18 (+34.9%)	

< 主要関係会社 >

国内：東レエンジニアリング、東レフィルム加工 他

海外：TPA(アメリカ)、TPEu(フランス)、TSI(韓国)、STEMCO(韓国) 他

事業セグメント別業績 (炭素繊維複合材料)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減	
東レ	115	118	+4 (+3.1%)	17	25	+8 (+45.4%)	航空機用途、産業用途とも順調に拡大する需要に対応し、炭素繊維、中間基材、成型品それぞれ拡販に努め、増収増益。
国内	65	84	+19 (+28.8%)	0	1	+0 (+29.8%)	商事子会社が順調に拡販を進め、増収。
海外	93	119	+26 (+27.4%)	10	19	+9 (+84.2%)	航空機用途、産業用途とも順調に需要が拡大し、1月に増設設備が稼働した米国子会社の増産効果もあり、増収増益。
修正	154	176		1	0	+1	
計	119	146	+26 (+22.1%)	26	44	+18 (+67.1%)	

< 主要子会社 >

国内：東レインターナショナル

海外：SOFICAR (フランス)、CFA (アメリカ)、TCA (アメリカ)

本セグメントでは、日米欧3拠点のグローバルオペレーションの規模が大きく、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

事業セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減	
東レ	16	16	+0 (+0.3%)	3	2	+1 (-)	
国内	228	254	+26 (+11.4%)	3	3	+0 (-)	水道機工、商事子会社が拡販を進め、増収。
海外	3	2	-0 (-15.2%)	0	0	+0 (-)	
修正				2	1	+1	
計	247	273	+26 (+10.4%)	9	6	+3 (-)	

< 主要関係会社 >

国内：東レ建設、東レエンジニアリング、東レACE、水道機工 他

事業セグメント別業績(ライフサイエンスその他)

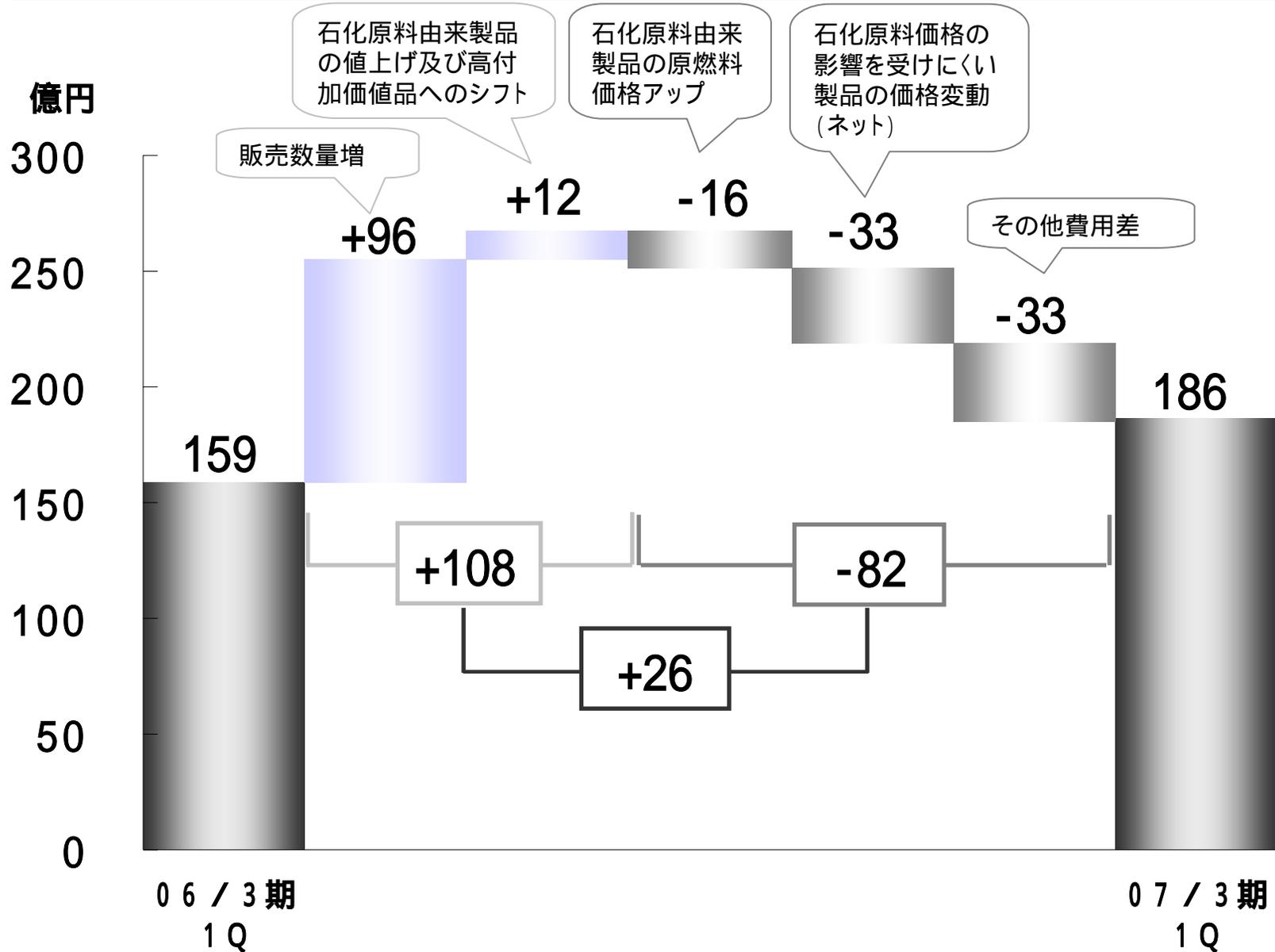
億円

	売上高			営業利益			特記事項
	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減	06年3月期 第1四半期	07年3月期 第1四半期	増減	
東レ	21	18	-3 (-15.0%)	2	2	+1 (-)	医薬事業は、薬価改定の影響等により、減収。
国内	143	125	-18 (-12.5%)	4	7	+3 (+72.2%)	商事子会社のスポット取引の減少等により、減収。人工腎臓の拡販等により、増益。
海外	11	7	-4 (-37.7%)	0	1	+0 (+460.0%)	
修正				1	0	-1	
計	174	149	-25 (-14.4%)	3	6	+3 (+107.0%)	
(内医薬・医療材)	93	92	-1 (-1.2%)	1	0	+1 (-)	

< 主要関係会社 >

国内：東レ・メディカル、東レリサーチセンター、東レインタープライズ 他

営業利益増減要因分析



・ 2007年3月期中間期
業績見通し(連結)

連結業績見通し

億円

	前年同期 実績	今回見通し	増減	期初見通し	増減
売上高	6,788	7,250	+462 (+6.8%)	7,250	- (-)
営業利益	388	430	+42 (+10.7%)	430	- (-)
経常利益	368	410	+42 (+11.4%)	410	- (-)
中間純利益	168	240	+73 (+43.3%)	240	- (-)

備考：為替レート的前提は、110円 / US\$

(注) 5月10日に発表した中間期業績見通しは修正していません。
 通期の業績予想につきましては、中間決算発表時に見直しを行う予定です。

事業セグメント別業績見通し (売上高 / 営業利益)

(1) 期初見通しとの差異

2007年3月期中間期

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	期初見通し	今回見通し	増減	期初見通し	今回見通し	増減	
繊維	2,900	2,900	- (-)	105	90	-15 (-14.3%)	原燃料価格高騰の影響を受け、期初見通し比減益の見通し。
プラスチック・ケミカル	1,750	1,750	- (-)	75	75	- (-)	
情報通信材料・機器	1,350	1,350	- (-)	155	155	- (-)	
炭素繊維複合材料	300	300	- (-)	80	95	+15 (+18.8%)	全用途が好調に推移し、期初見通し比増益の見通し。
環境・エンジニアリング	600	600	- (-)	0	0	- (-)	
ライフサイエンスその他	350	350	- (-)	15	15	- (-)	
(内医薬・医療材)	200	200	- (-)	5	5	- (-)	
計	7,250	7,250	- (-)	430	430	- (-)	
消去又は全社				0	0		
連結	7,250	7,250	- (-)	430	430	- (-)	

事業セグメント別業績見通し(売上高 / 営業利益)

(2) 前年同期との差異

2007年3月期中間期

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	前年同期実績	今回見通し	増減	前年同期実績	今回見通し	増減	
繊維	2,887	2,900	+13 (+0.4%)	104	90	-14 (-13.0%)	原燃料価格の高騰の影響を受け、売上高横這い減益の見通し。
プラスチック・ケミカル	1,588	1,750	+162 (+10.2%)	86	75	-11 (-13.0%)	自動車用途の樹脂、工業材料フィルム等の需要は堅調も、原燃料価格高騰の影響を受け、増収減益の見通し。
情報通信材料・機器	1,111	1,350	+239 (+21.5%)	131	155	+24 (+18.3%)	IT関連フィルム・樹脂、PDP関連材料等の拡大を見込み、増収増益の見通し。
炭素繊維複合材料	244	300	+56 (+22.9%)	59	95	+36 (+61.0%)	全用途が堅調に推移するとともに米国子会社の増産効果等もあり、増収増益の見通し。
環境・エンジニアリング	619	600	-19 (-3.1%)	12	0	+12 (-)	体質強化を進め、全体で減収利益改善の見通し。
ライフサイエンスその他	337	350	+13 (+3.7%)	20	15	-5 (-25.6%)	医薬・医療材事業は、医薬事業が薬価改定の影響等により、減収減益の見通し。
(内医薬・医療材)	203	200	-3 (-1.6%)	6	5	-1 (-22.8%)	
計	6,788	7,250	+462 (+6.8%)	388	430	+42 (+10.8%)	
消去又は全社				0	0	-0	
連結	6,788	7,250	+462 (+6.8%)	388	430	+42 (+10.7%)	

本資料中の2007年3月期中間期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。